

障害の理解

問題 49 ストレンジス(strength)の視点に基づく利用者支援の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人の特性や強さを見つけて、それを生かす支援を行うこと。
- 2 日常生活の条件をできるだけ、障害のない人と同じにすること。
- 3 全人間的復権を目標とすること。
- 4 権利を代弁・擁護して、権利の実現を支援すること。
- 5 抑圧された権利や能力を取り戻して、力をつけること。

問題 50 1960年代のアメリカにおける自立生活運動(I L運動)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害があっても障害のない人々と同じ生活を送る。
- 2 一度失った地位、名誉、特権などを回復する。
- 3 自分で意思決定をして生活する。
- 4 医療職が機能回復訓練を行う。
- 5 障害者の社会への完全参加と平等を促進する。

問題 51 「障害者虐待防止法」における、障害者に対する著しい暴言が当てはまる障害者虐待の類型として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 身体的虐待
- 2 放棄・放置
- 3 性的虐待
- 4 心理的虐待
- 5 経済的虐待

(注) 「障害者虐待防止法」とは、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題 52 上田敏の障害受容のモデルにおける受容期の説明として、最も適切なもの を 1 つ選びなさい。

- 1 受傷直後である。
- 2 障害の状態を否認する。
- 3 リハビリテーションによって機能回復に取り組む。
- 4 障害のため何もできないと捉える。
- 5 障害に対する価値観を転換し、積極的な生活態度になる。

問題 53 次のうち、四肢麻痺を伴う疾患や外傷として、適切なものを 1つ選びなさい。

- 1 右脳梗塞(right cerebral infarction)
- 2 左脳梗塞(left cerebral infarction)
- 3 頸髄損傷(cervical cord injury)
- 4 腰髄損傷(lumbar spinal cord injury)
- 5 末梢神経損傷(peripheral nerve injury)

問題 54 学習障害の特徴に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1つ選びなさい。

- 1 読む・書く・計算するなどの習得に困難がある。
- 2 注意力が欠如している。
- 3 じっとしているのが難しい。
- 4 脳の機能に障害はない。
- 5 親のしつけ方や愛情不足によるものである。

問題 55 Aさん(60歳、男性)は、脊髄小脳変性症(spinocerebellar degeneration)のため、物をつかもうとすると手が震え、起立時や歩行時に身体がふらつき、それつが回らないため発語が不明瞭である。

次のうち、Aさんの現在の症状に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 運動麻痺
うんどうまひ

2 運動失調

3 関節拘縮

4 筋萎縮

5 筋固縮

問題 56 Bさん(21歳、男性)は、統合失調症(schizophrenia)を発症し、継続した内服によって幻覚や妄想などの症状は改善しているが、意欲や自発性が低下して引きこもりがちである。現在、Bさんは、外来に通院しながら自宅で生活していて、就労を考えるようになってきた。

介護福祉職が就労に向けて支援するにあたり留意すべきこととして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 あいまいな言葉で説明する。

2 代理で手続きを進める。

3 介護福祉職が正しいと考える支援を行う。

4 Bさんに意欲をもつように強く指示する。

5 Bさん自身が物事を決め、実行できるように関わる。

問題 57 Cさん(3歳)は、24時間の人工呼吸器管理、栄養管理と体温管理が必要であり、母親(32歳)が生活全般を支えている。Cさんの母親は、「発達支援やショートステイを活用したいのに、市内に事業所がない。ほかにも困っている家族がいる」とD相談支援専門員に伝えた。

D相談支援専門員が、課題の解決に向けて市(自立支援)協議会に働きかけたところ、市内に該当する事業所がないことが明らかになった。

この事例で、地域におけるサービスの不足を解決するために、市(自立支援)協議会に期待される機能・役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 困難な事例や資源不足についての情報の発信
- 2 権利擁護に関する取り組みの展開
- 3 地域の社会資源の開発
- 4 構成員の資質向上
- 5 基幹相談支援センターの運営評価

問題 58 Eさん(38歳、男性)は、脳梗塞(cerebral infarction)を発症し、病院に入院していた。みぎかたまひ 退院時に、右片麻痺と言語障害があったため、身体障害者手帳2級の交付を受けた。現在、Eさんと家族の希望によって、自宅で生活しているが、少しずつ生活に支障が出てきている。Eさんの今後の生活を支えるために、障害福祉サービスの利用を前提に多職種連携による支援が行われることになった。

Eさんに関わる関係者が果たす役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護サービス計画を作成する。
- 2 医師が、要介護認定を受けるための意見書を作成する。
- 3 基幹相談支援センターの職員が、障害福祉計画を立てる。
- 4 地域包括支援センターの職員が、認定調査を行う。
- 5 相談支援専門員が、サービス担当者会議を開催する。